

こちらは腎臓の働きが低下している方かつ医療機関未受診だと思われる方へのお知らせです。下記の表および裏面の図の数値は令和6年度のあなたの健診結果の値です。ご自身の健診結果を改めて確認していただき、腎障害が今よりも進行する前に、早めに腎臓内科または内科の医師の診察をお受けください。

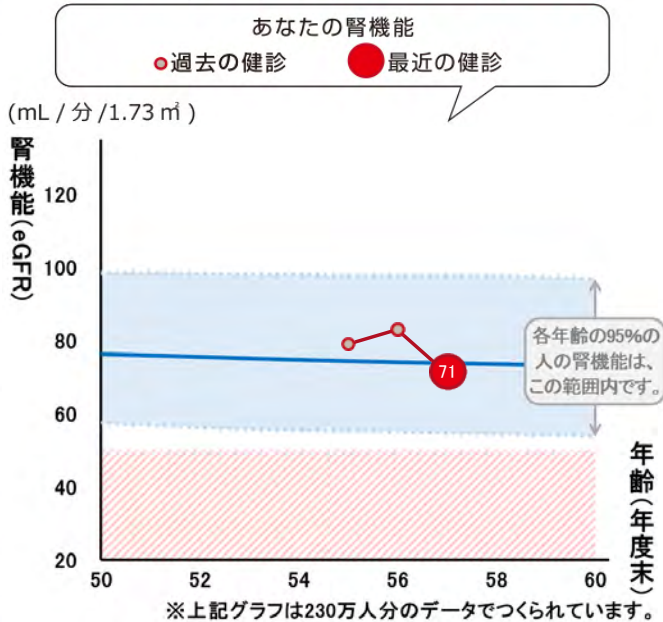
中部アイティ産業健康保険組合
 〒503-0006
 岐阜県大垣市加賀野4-1-7
 ソフトピアジャパンセンター910
 0584-75-1411



あなたの腎機能の状態を グラフで確認してください

このグラフは、年齢に合わせた腎機能の分布を示しています。真ん中の実線は年齢平均で、上と下の点線の範囲内に95%の人が分布していることを示しています。

赤い範囲に入ると、腎機能が著しく低下し
慢性腎臓病の可能性が高い状態です。



あなたの腎臓の注意ポイント

腎臓の働き
(推算糸球体濾過量)

腎の働き(機能)は正常
 または軽度低下している
 状態です。

71.2 ☺
 mL/分/1.73m²

※eGFRの数値は、小数点第2位を切り捨てています。

腎機能が
 悪くなる速さ

腎の働きが急速に悪く
 なっています。

一般的には毎年0.6mL/分/1.73m²
 濾過機能が低下します

-11.8 ☹
 mL/分/1.73m² 低下しました

腎臓が
 傷ついた状態
(蛋白尿)

尿中のたんぱくが増え
 ています。「腎臓の働き」
 が悪くなっている場合
 は再検査しましょう。

(±) ☹
 高度蛋白尿

腎臓機能の悪化に影響する検査結果

腎臓の状態					血圧の状態		血糖の状態		脂質の状態			尿酸の状態
あなたの健診結果	尿蛋白	血清クレアチニン (mg/dL)	eGFR (mL/分/1.73m ²)	(前回健診比) ※ eGFRの変化	収縮期 (mmHg)	拡張期 (mmHg)	空腹時血糖 (mg/dL)	HbA1c (%)	中性脂肪 (mg/dL)	LDL (mg/dL) コレステロール	HDL (mg/dL) コレステロール	尿酸値 (mg/dL)
2019/05/27	±	0.87	71.2	-11.8	138	85	158	7.2	178	126	43	6.1
2018/05/28	-	0.76	83.0	3.1	130	81	126	6.5	185	132	38	5.2
2017/06/06	-	0.79	79.9		136	81	128	6.5	352	138	40	5.2

※eGFRの変化=年間5mL/分/1.73m²以上の低下、または25%以上低下している時には急速な腎臓機能の悪化の可能性がります。

内科医師にこの検査結果を見せましょう!



早めに医師の 診察を受けましょう。

※腎臓内科または内科

健診受診月
2024年09月

作成月
2024年10月

監修/木村健二郎
(JCHO東京高輪病院院長
腎臓専門医/高血圧専門医)

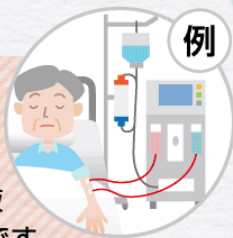
健診結果から、あなたは人工透析を必要とする**末期腎不全**や入院や高度医療を必要とする**脳卒中**や**心筋梗塞**を発症するリスクのある慢性腎臓病(CKD)である可能性があります。早期に受診し、今の状態を維持し、これ以上悪くならないよう治療や生活習慣の改善に努めましょう。

あなたの腎臓のろ過能力は
29%
低下しています

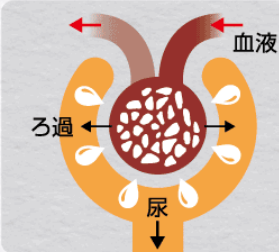


人工透析

週に複数回通院し、数時間かけて血液を浄化する治療法です。



例



糸球体

しきゅうたい

余分な水分や老廃物は糸球体で濾過されて、体外に尿として排泄されます。糸球体は片方の腎臓*に約100万個存在しますが、この濾過能力(濾過量)をGFRと言います。



※イメージ図



あなたの腎機能が失われている割合を示しています。

- 慢性腎臓病(CKD)とは、慢性(3カ月以上)に経過するすべての腎臓の病気のことを指します。腎臓はあなたの身体を正常な状態に保つ重要な役割を担っているため、CKDによって腎臓の機能が低下し続けることで、さまざまな病気の危険が発生します。
- 腎臓は一度あるレベルまで悪くなってしまうと、その後進行性に悪化することが多いです。
- CKDは、自覚症状がないことが特徴です。●生活習慣病との関連も深く、誰もがかかる可能性のある病気です。

※左右の腎臓に合わせて200万個の糸球体があります。